調査研究報告書 No.110 2003

高度熟練技能とOJTを支援するOff-JT ~OJTによる能力開発に関する研究 報告書~

雇用·能力開発機構

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

## はじめに

経済・産業のグローバル化、技術革新の急激な変化の中で、これまで我が国の経済発展 に重要な役割を担ってきた熟練技能者の後継者育成が困難になってきている。

人材育成にはOJTとOff – JTがあるが、OJTはその比率が依然として高く、企業の人材育成に重要な位置を占めている。企業におけるOJTによる習得目標の1つはその仕事の高度遂行能力として進められている。しかし、実際には「計画的なOJT」による人材育成を実施している企業は少ないといわれている。

本研究は、熟練技能者と、熟練技能が技能形成されてきた OJT に着目し、熟練技能者育成を効果的・効率的に行える能力開発プログラムを開発することを目的としている。また OJT と Off-JT は能力開発の両輪であるので、これらを見据えながら「能力開発に関する企業の現状(OJT、Off – JT)」「熟練技能」「熟練技能の整理の仕方」を把握し、能力開発 Off – JT プログラムの可能性について研究を進めた。

本報告では、これらをふまえ開発したステップアップシリーズの試行コース実施について述べることする。

本報告が高度熟練技能者の育成に携わる方々や、同技能者に感心のある方々の参考になれば幸いである。

なお、本年度、研究実施にあたり示唆や現場見学、調査などにご協力いただいた、(株)神鋼ヒューマン・クリエイト、NECマシナリー(株)、三洋電機(株)、生田産業(株)、日本パワーファシニング(株)、(株)森精機製作所、またコース実施にあたり参加いただいた三ツ星ベルト(株)、サンスターグループエンジニアリング(株)、ミツ精機、(株)島津製作所の方々をはじめ皆様方に心よりお礼申し上げる。

2003年3月

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

所長 池 本 喬 三

## 「OJT による能力開発に関する研究」 研究プロジェクトメンバー

久保 徳次 大宮商工会議所

鈴木 正泰 (株) デンソー技研センター

三輪 修 (株)デンソー技研センター

関本 政俊 特級技能士

楞野 章二 松下電器産業(株)生産技術本部

佐藤 隆 (株)東芝 生産技術センター

宮崎 久夫 (株)東芝 生産技術センター

中村 洋 (株)日立製作所 総合教育センタ

菊地 利一郎 (株)日立ハイテクノロジーズ那珂事業所

小原 哲郎 職業能力開発総合大学校 指導学科

鈴木 和則 滋賀職業能力開発促進センター

稲垣 宗昭 能力開発研究センター

菱沼 黎明 能力開発研究センター

植木 正則 能力開発研究センター

協力

渡部 正敏 (株)日立製作所 総合教育センタ

簗瀬 照彦 (株) デンソー技研センター

森田 英 機構本部 産業情報ネットワーク企画室

大崎 哲 関西職業能力開発促進センター

中村 知 関西職業能力開発促進センター

藤原 力 関西職業能力開発促進センター

柳 秀樹 関西職業能力開発促進センター

坂井 利文 京都職業能力開発促進センター

榊原 充 京都職業能力開発促進センター

大町 正典 中部職業能力開発促進センター

順不同 敬称略

## 目 次

## はじめに

	研究開発の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
第1節	研究の背景と基本認識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.3
第2節		.4
第3節	研究開発の主な成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3.
調査研究		
	 高度熟練技能とその維持継承の問題点 ···················	15
第1節		15
第2節	,	21
	熟練技能の維持継承の問題点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
第3章	熟練の高度化を支援する Off — JT の可能性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	15
第1節	OJT を支援する Off — JT 〜技能のプラトー離陸計画〜 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
	(コースシリーズの必然性、技能要素との対応、等)	
第2節	シリーズを成す各コースの構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
実践編		
第4章	「フライス加工満点追求コース」の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
第1節	課題の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
第2節	コースカリキュラムの作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
第3節	ニーズ調査とコース案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
第5章	「フライス加工満点追求コース」の実施 ····································	73
第1節	実施コースの概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
第2節	コース実施の詳細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	75
第3節	指導内容の中心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
第6章	コース実施によるプランの検証と修正 ············	35
第1節	コース実施によって分かったこと、諸反省点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
第2節	修正カリキュラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
第7章	今後の研究開発の展望と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	)1
資料 …		<b>)</b> 3